



# モノ、ヒト シゴト

TOYOKAWA PRODUCE

豊川市が誇るモノづくりと、それに携わるヒト  
を紹介します。

VOL.  
32

## 信頼の技術の世界へ

トピー工業株式会社  
豊川製造所長・高柳 充宏さん

100年の歴史が誇る技術力

自動車のホイールや建設機械用部品などの製造を手掛けるトピー工業。中でも、豊川製造所でつくられる乗用車のスチールホイールは、国内で約3割のシェアを誇っている。

豊川製造所長の高柳さんは「100年で培った製鋼技術をもとに、安全で信頼されるスチールホイールを製造している」と話す。

### 品質を保ち軽量化

今の時代に求められるのは、燃費が良く地球環境に優しい自動車。燃費はホイールなどの車体下部を軽くすることで大きく伸ばすことができる。スチールホイールをつくる上では、走行性能を損なわず、いかに軽量化するかが重要。そのためには、より薄い板厚の鋼材を使用する必要があるが、厚さを薄くすると割れやすくなるという課題に直面した。そこで、製造の各工程において担当部門で検討を重ね、溶接方法を変更する他、強度が必要な部分

を解析して部分的に厚みを加える独自技術を開発。十分な強度を持ち、かつ軽質なホイールの製造を実現した。「安全性を保ち、地球環境に配慮したスチールホイールをつくるため、製造所一丸となって試行錯誤し改善につなげた」と高柳さんは話す。

また、各部品の検査に加え、溶接後のホイールを回転させ振れ方に偏りがないかなどの検査を行う。出荷前には、機械で判別できないような小さなへこみや傷などを人の目で確認。こうして何回もの検査を実施することで、安定した品質のホイールが完成する。

### 豊川の技術の世界へ

国外への事業展開をさらに進めていく中で、技術面などで先進的な存在となる豊川製造所。「今後は、他の工場をけん引していくため、豊川製造所の技術やシステムをより磨いていきたい」と語る高柳さん。「世界のトピー」を目指し、これからも自動車産業を支えるため走り続ける。

#### トピー工業株式会社

豊川製造所:穂ノ原3-30

1921年創立。自動車のホイール製造などを手掛ける。豊川製造所は1964年操業。豊川製造所で製造する乗用車のスチールホイールは国内シェアの3割を誇る。



1 材料となる板状の鋼材(コイル)からスチールホイールを製造する 2 豊川製造所で造られるスチールホイール 3 出荷前は機械だけでなく人の目でも検査を実施